

——“輝く湖水”“恋人の小径”“お化けの森”——

アンに会いませんか、世界一美しいプリンス・エドワード島で——



Anne of Green Gables

赤毛のアン

監督:ケヴィン・サリヴァン
原作:ルーシー・モード・モンゴメリ
映画原作版(金の星社刊)

ミーガン・フォロース
コリーン・チューハースト
リチャード・ファーンズワース
パトリシア・ハミルトン
シュイラー・グラント
ジョナサン・クロンビー



ケヴィン・サリヴァン プロダクション 作品

製作:ケヴィン・サリヴァン/イアン・マクドガル◆脚本:ケヴィン・サリヴァン/ジョー・ワイゼンフェルド◆撮影:ルネ・オオハシ◆音楽:ハーグッド・ハーディ◆配給:松竹富士株式会社 SHOCHIKU-FUJI CLASSICS



赤毛のアン

その愉快な
おしゃべりを聞いたら
誰だって
アンが好きになる

Anne of
Green Gables

赤い髪にソバカス。口を開けば、ポップコーンのようにはじけて次々と飛び出す楽しいおしゃべり。孤児という不幸な生いたちをものともせず、人並みはずれた想像力で、この世界を誰よりも素晴らしく生きる少女アン。彼女に出会ったひとは、たちまちその不思議な魅力のとりこになってしまうはずです。

ちょっとした手違いから、プリンス・エドワード島の老兄妹マッシュウおじさんとマリラのもとにひきとられたアンが、その旺盛な好奇心と、活発な行動力で巻き起こす、愉快で滑稽な事件のかずかず——。ただひとつ悩みの種の赤い髪を侮辱した、リンド夫人やクラスメートの男の子ギルバートと大喧嘩をやったのけたり、いっそ髪を染めてしまおうと、間違っって緑色に染めてしまったり……。

そして、腹心の友ダイアナとの永遠に変わらぬ友情や、決して許さないと決ったギルバートに、いつのまにか抱く甘酸っぱい恋ごころ。また誰よりもアンを理解し愛してくれた、マッシュウおじさんの突然の死は、小さな胸には、あまりに大きな悲しみでした。

そんな、少女時代のさまざまな出来事に、純粋な気持ちでぶつかっていくアン。その明るくひたむきな姿が、私たちの心に忘れられぬ感動を呼びおこすのです。さあ、あなたもアンに会ってみませんか——。

世界中の人々に愛されて
素晴らしい
映画になりました



森と湖のプリンス・エドワード島は
永遠に女性たちの憧れです

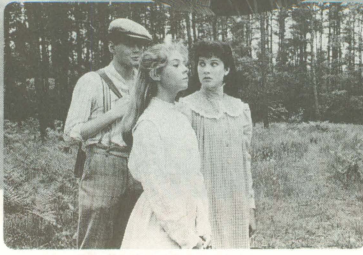
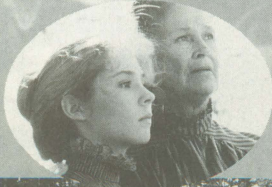
カナダの女流作家ルーシー・モード・モンゴメリの手から放たれて80年……この小説『赤毛のアン』は、世界中の女性たちに永遠の大ベストセラーとして愛されてきました。その発行部数はこれまでに800万部にも達し、しかも、30か国で翻訳出版されています。もちろん、日本においてもその人気は群を抜いて高く、女性たちのバイブルとまでいわれ、多くの『赤毛のアン』ファンがいることは言うまでもありません。

なぜ、これほどまでにこの一冊の小説が人々の心をとらえるのか——初めてそれを読んだとき、どれだけ胸がときめき、感激したかを思い出していたらわかるはず。ある人はアンは自分と同じだと感じ、またある人はアンのような友達に欲しくなったに違いないのですから……。

そして不思議なのは、モンゴメリの生きた80年前と今とは、何もかもが違うはずなのに、アンの世界がいつも新鮮で、その魅力が昔から少しも変わらないことです。

『輝く湖水』『お化けの森』『恋人の小径』…アンが命名したこの美しい自然や、アヴォンリーの村はすれに建つアンが暮らした家『グリーンゲイブルズ』。アンという言葉で言うなら“胸がすきりとする”くらい素晴らしいプリンス・エドワード島のこうした風景に憧れ、一度は訪れてみたいと夢みていた人たちも多いでしょう。今回の映画化にあたって最もうれしいのは、このプリンス・エドワード島でロケがおこなわれたことです。あなたは、スクリーンの中でアンと同じ感激をわかちあうことができるのです。

また、主役のアンを選定にあたっては、原作のイメージ通りのアンを探すため大オーディションが行なわれ、3000人の少女たちの中からミーガン・フォロースが選ばれました。カナダを代表する最高のスタッフとキャスト、そして美しいロケ地を得て完成したこの作品は、世界中の『赤毛のアン』ファンたちに、原作をしのご感動をプレゼントすることになるでしょう。



- ◆スタッフ◆
- 製作……………ケヴィン・サリヴァン
 - ……………イアン・マクドガル
 - 監督……………ケヴィン・サリヴァン
 - 原作……………ルーシー・モード・モンゴメリ
- ◆キャスト◆
- アン……………ミーガン・フォロース
 - マリラ……………コリーン・デューハースト
 - マッシュウ……………リチャード・ファーンズワース
 - ダイアナ……………シュイラー・グラント

夏休み 待望のロードショー

特別鑑賞券 一般 1300円 / 学生 1100円 / ペア券 2300円
(当日 一般1600円 / 大・高生1300円 / 中学生1200円のところ)

コマ劇場前・地球会館B1

新宿ジョイシネマ (209) 6180

連日 10:30 1:10 3:50 6:30